



ふれあいネットワーク

やまとおおりやま 第103号

社協だより

平成28年12月15日号

発行 社会福祉法人
大和郡山市社会福祉協議会
大和郡山市植槻町3番8号
TEL (0743) 53-6531
FAX (0743) 55-0986

「社協」は社会福祉協議会の略称です

<http://www4.kcn.ne.jp/~ykshakyo/>

今年も各種事業へのご協力 ありがとうございました



老人福祉センター「ゆたんぽ」 新舞踊教室の皆さん

ゆたんぽまつり

9月13日～19日に「ゆたんぽまつり」を市高友クラブ連合会とボランティアグループ「花の集い」の協力により開催しました。

囲碁・将棋大会では、熱戦が繰り広げられ、絵画・書道・手芸・写真などの作品展、歌や踊りの演芸大会ではたくさんのご参加があり、日頃の成果を見事に発揮され披露していただきました。

また、友人の応援に駆けつけて来られた方や、この日を楽しみにされていた大勢の方々が来館され賑わいました。



お知らせ

施設事業課 駅周辺で駐車場を運営しています！

駐車場を利用させていただくことにより、利用料が地域福祉に還元されます。
対象駐車場は下記3駐車場となります。

駐車場名	最寄り駅	入庫後 24 時間以内最大料金
三の丸駐車場	近鉄郡山駅	1,000円
JR郡山駅前自家用車自動車整理場	JR郡山駅	1,000円
JR小泉駅東自動車駐車場	JR大和小泉駅	700円

また、駐車料金のお支払いに利用いただける、お得なプリペイドカードを販売しています。

3,000円で3,300円分、
5,000円で5,500円分
利用できます！



〈販売場所〉

- 三の丸駐車場管理事務所
- 社会福祉協議会施設事業課（社会福祉会館1階）
- 大和郡山市商工会（まいどホール2階）
- 大和郡山市観光協会（市民交流館1階）
- 大和郡山市元気城下町ぷらっと（アピタ大和郡山店2階）
- 大和郡山市元気城下町プラザ（イオンモール大和郡山2階）

福祉課 障害福祉係

生活介護事業

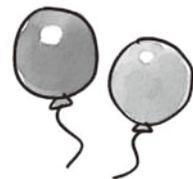
～楽しく生き生きとした生活を送りませんか！～

障害者総合支援法に基づき、利用者の方に対して、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な運動や創作活動などを通じて、身体機能の維持・向上及び社会参加を促進することを目的として事業を展開しています。

「自分でできることは自分で！楽しく！生き生きと生活ができるように」をモットーに運動訓練や音楽療法、調理実習、制作活動（絵画、工作など）、劇発表会、屋外での活動など、様々な支援を行っています。



- *利用日時 月曜日～金曜日（祝日及び12/29～1/3は除く）
 - *対象者 障害福祉サービス受給者（区分3以上）
 - *送迎 あり（但し、利用日によってはできないことがあります。）
- 〈お問い合わせ先〉 福祉課障害福祉係 ☎ 53 - 6531



手話通訳派遣事業

聴覚障がい者の方、聴覚障がい者とコミュニケーションが取りたい方に手話通訳者の派遣を行っています。

治道地区社会福祉協議会

治道地区は市の南東部に位置し、自然豊かな田園地帯が広がり、歴史に培った村々が点在している地域です。地区の特産品である治道トマトは絶品です。人口は市全体の人口の約3%、高齢化率は39%で、「向こう三軒両隣」が今でも生きており、地域のつながりが強い地域です。治道地区社協は、昭和52年3月、地域福祉の推進を目的として市内で初めて発足された地区社協で、治道支所・公民館を拠点として活動しています。

【活動内容】各部会では地域のつながり・ふれあいを大切に事業を展開しています。

- 総務部会 総会、地区敬老会、治道まつり、研修会
- 生活保健部会 各種検診の実施（胃癌・肺癌）、ひとり暮らし老人等の見守り事業
- 青少年部会 青少年問題等について（危険箇所の注意喚起立看板の点検・補修）
- 高友部会 ゲートボール普及・地区大会
グラウンドゴルフ普及推進・地区大会
寝たきり老人、ひとり暮らし老人友愛訪問
- 交通安全対策部会 足型及びトマレマークの補修と設置及びカーブミラーの清掃



地区敬老会の様子

【ピックアップ】上記地区社協活動以外にも地域では住民間の交流が活発になされています。

横田町ほのぼのサロン（地域で気軽に集える場）

横田町では高齢者が気軽にふれあい集える場の創出や健康を維持することを目的として、自治会長が中心となり「横田町ほのぼのサロン」が毎月1回実施されています。

治道元気プログラム（小学校と公民館の交流）

生涯学習の場である公民館では、公民館クラブが組織され、書道、茶道、三味線、陶芸やコーラスなどを通じて、小学生との積極的な交流の場が設けられています。

【今後に向けて】～「誰もが安心して暮らせるまちづくり」を目指して〔役員の想い〕～

全国的にみられる少子高齢化は、治道地区でも同様で、高齢化の一途をたどっており、今後更なる地域の担い手不足や、生活に直接関わる農業の担い手不足などが懸念されています。また、荒れる農地や、空き家が増えるなど地域の環境や防犯上の問題にも影響が出てきます。

今後は、共に住民同士が支え合うという「互助・共助」の視点を大切にし、これまでのふれあいつながる活動を活かしながら、地域力を高める仕組み（しかけ）づくりがますます重要になってくると考えています。

赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございます



今年も10月1日から赤い羽根共同募金が始まりました。10月1日（土）・3日（月）には、市内にある駅前・バス停、店舗前で街頭募金活動が行われ、多くの皆様からご協力いただきました。皆様から寄せられました募金は、市内・県内の地域福祉に役立てられます。なお、募金活動は来年3月号の社協だよりでご報告させていただきますので、引き続きご協力よろしくお願いたします。



熊本県西原村社会福祉協議会へ職員を派遣しました！

地震から3ヶ月経ち、高齢者・障害者世帯の方が仮設住宅へようやく入居される時期でした。

総務課 小幡 恭裕【7/16～7/21】

現地での私の役割は、西原村社協の方と共に仮設住宅を訪ねたり、集会所でふれあいサロンを開いたりする中で、被災された方たちが必要なサービスを受けてもらうために今何に困り、不安なのかを教えてもらうことでした。

「スイッチひとつでお風呂が沸く便利な自動給湯機も、薪でお風呂を焚いていた方からすれば使い方がわからない」「家の仏壇は無事だったが、仮設住宅へは大きすぎて持ってこられない」など物理的な困り事から「日課にしていたおもての草引きが出来ないので、日中することがない」「気落ちからか、夫の認知症が進んでしまった」「大きな物音が怖い」など心や先行きの不安もたくさん聞かせていただきました。

その中でも印象に残っていることは「地震のあった夜、暗闇の中、家から逃げるとき、もう二度とこんな怖いところに戻りたくないと思っていたのに…3日、5日、1週間も経てばどうにか家を直し、また元の場所で住めないか…と思う自分がある。ふるさとってそんなものかな…」という話でした。

テレビでは熊本のことは映らなくなり、普段の生活の中では震災は終わったことのように感じてしまいます。

しかし、現地では未だに不安を抱えている方が今までとは違う環境で生活をしながらも元の生活に戻ろうと頑張っておられ、地元の社協の方たちは住民の不安を解消するために日々奮闘し続けておられることを忘れてはならないと思います。

「もし、大和郡山市でこのような災害が起こったらどうなるのだろう」というこの5日間に感じた危機感を皆さんに伝えながら、これから地域のつながりづくりや災害時のマニュアルづくりなどに取り組んでいければいいなと感じています。



サロンでの一幕

熊本地震義援金へのご協力 ありがとうございました！

社会福祉協議会関係施設設置の義援金箱へ34,572円の義援金が寄せられました。

(7月～9月)

また、PTA連絡協議会様より義援金をお預かりしました。

お預かりした義援金は皆さまのあたたかな気持ちと共に熊本県共同募金会へ送金させていただきましたことをご報告させていただきます。今後ともご協力
よろしくお祈りします。



ご寄附ありがとうございました！

ユニー（株）“小さな善意で大きな愛の輪”運動ユーホーム 大和郡山店様より3,724円のご寄附をいただき、ありがとうございました。

なお、ユーホーム 大和郡山店様は8月14日をもって閉店されました。長年、当会への事業にご協力いただきましたこと心よりお礼申し上げます。

【問い合わせ・申込先】

社会福祉法人大和郡山市社会福祉協議会
〒639-1005大和郡山市植槻町3番8号

- ☎ 53-6531 (社会福社会館)
- ☎ 53-0122 (老人福祉センター)
- ☎ 55-7333 (ボランティアビューロー)
- ☎ 53-6533 (総務課)
- ☎ 53-6535 (施設事業課)
- FAX 55-0986 (社会福社会館)